

ANA システムズ株式会社

豊富な実績に裏付けられた高品質な コンバージョンツールにより、計画 どおり短期間でマイグレーションを完遂。

ANA グループの IT 司令塔として、重要な役割を担う ANA システムズ株式会社。早くからメインフレーム上で稼働するシステムをオープン化し、最近ではプライベートクラウドへの移行を進めてきた。その中で、唯一メインフレームに残されていたのが国内旅客収入管理システム。しかし、データセンターの移転に伴い、そのメインフレームも廃止が決まったことから、短期間でのオープン化が避けられない状況となった。厳しい納期とコスト要求を満足し、高品質なマイグレーションを実現したい。その答えとして ANA システムズ株式会社が選んだのが、キャノン IT ソリューションズのホストマイグレーション。豊富な実績に裏付けられた高品質なコンバージョンツールにより、品質・コスト・納期全てが計画どおりでマイグレーションを完遂した。

お客様が実現できたこと

- ✓ 計画どおりのスケジュールでオープンシステムへ移行。本番移行後も安定稼働を実現。
- ✓ 高品質なコンバージョンツールにより、新旧比較テストの対象数を削減。期間とコストを節減できた。
- ✓ 上流工程で早期に移行性を検証。リスクを抑えてマイグレーションを進められた。

▶ お客様プロフィール



社 名：ANA システムズ株式会社
U R L：www.anasystems.co.jp

本社住所：東京都大田区東糀谷六丁目
7 番 56 号

設 立：2013 年 4 月
従業員数：844 名(2018 年 4 月 1 日現在)

ANA システムズ株式会社は、ANA グループの情報システムを支える企業として、グループ各社からのさまざまな要請に応えるとともに、最新のビジネスモデルを提案し、システム面からフライトの信頼性と安全性を磐石の備えを持って支えています。

航空業界の IT 企業として、エアラインビジネスに直結した企画・提案、大型プロジェクトの受託開発、フィールドへの展開から稼働後のシステム運用まで幅広く品質の高いトータルサービスを提供しています。

ミッション

ANA システムズは、ANA グループの IT プロフェッショナルとして、

- ・エアラインビジネスを、信頼できる IT サービスで支えます。
- ・IT を活用したイノベーションを実現し、未来を創造します。





ANAシステムズ株式会社
次期収入管理システムプロジェクト
チーフエキスパート
杉山 展康 様

「実績に裏付けられた品質の高さ」

「キャノンITソリューションズは豊富な実績とノウハウに裏付けられた提案で、プロジェクトを主導してくれましたが、それは提供されるドキュメントにも表れていました。

結果報告書、操作説明書などの資料が非常に高品質で分かり易く整理されており、関係者への説明にも安心して使うことができました」



お客様のご要望

- ▶ 新たなデータセンターへの移転にあわせて、短期間に脱メインフレームを完了したい。
- ▶ できるだけコストを抑え、最小限のリスクで効率的にマイグレーションを進めたい。
- ▶ 豊富な実績とノウハウを持ち、信頼できるベンダーとプロジェクトを進めたい。



導入前の課題と背景

メインフレームからの脱却を実現したい

メインフレームからのオープン化を推進して来られたと伺いました

「ANA システムズは ANA グループ各社のシステム開発や、情報インフラの保守運用を行なっています。多岐にわたるシステムそれぞれの特質にあわせ、SaaS の利用やスクラッチ開発などさまざまな構築手法から最適な QCD を実現できるものを選んでいきます。

ANA グループにおいても、以前からメインフレーム系システムのオープン化を推進しており、最後に残ったのが国内旅客収入管理システムでした。このシステムは旅客収入情報の登録や、計上システムへの入力支援、代理店への請求用情報や帳票作成、関連データウェアハウスへの情報提供などを目的としています。運用費用が高いため、他のシステムと同様にオープン化が望まれましたが、このシステムに連携する上流の旅客系システムの改定などが優先された結果、メインフレームで動かす最後のシステムに残ってしまいました」



導入の必然性

短期間で移行するためストレートコンバージョンを採用

短期間で脱メインフレームを実現する必要が生じたそうですね

「きっかけは IBM メインフレームが設置されていたデータセンターの移転が計画されたことでした。メインフレーム移設は現実的でなく、オープンシステムへマイグレーションし、新データセンターに構築するプライベートクラウド環境に移行することにしたのですが、許された期間は 13 ヶ月でした。この期間での移行が可能かキャノン IT ソリューションズに問い合わせたところ、過去実績と照らし合わせると当社のシステム規模では短期間の部類となるが、同規模のマイグレーション経験があり、スケジュールの工夫によっては提案可能との回答がありました。具体的にはパイロットテストや新旧比較テストの実施タイミングの工夫とのことでしたが、これらも踏まえ総合的に検討した結果、提案されたストレートコンバージョンが最適と結論づけました」

工夫

運用の工夫

上流工程で移行性を十分に検証し
リスクを低減

ストレートコンバージョンに不安はありませんでしたか
「ストレートコンバージョンは初めての取り組みでしたし、ツールを使ったコンバージョンで高精度なマイグレーションができるのか、最初は疑問に思っていました。それで、キヤノン IT ソリューションズが過去にマイグレーションを実施したお客様を訪問し、クライアントの立場からのコメントをヒアリングさせてもらったところ、同社のマイグレーションを高く評価していることが判りました。



左から
次期収入管理システム
プロジェクト
マネージャー
山口 勝己様
次期収入管理システム
プロジェクト
チーフエキスパート
杉山 展康 様

さらに、プロジェクト開始前に当社の実データとプログラムを使用して POC(移行性検証)を実施したところ、期待を上回る品質だったことから、不安は払拭されました」

かなり早い段階で移行性を検証されたのですね

「納期が限られていたこともあり、早い段階でストレートコンバージョンという手法の妥当性を確認する必要がありました。そのため、複数のバッチを含むサンプルを選んでマイグレーションしてもらい、コンペア検証だけでなく画面の遷移や動きまで確認したのです。こうしたフィジビリティの検証を POC で確認できたことで、安心感をもってプロジェクト実施を決断できました。

プロジェクトを開始し、システム分析計画フェーズを済ませた後、まず実施したのがパイロットコンバージョンです。キヤノン IT ソリューションズが持つ資産変換ツールの中から最適なものを選び、POC よりも精度の高い資産変換を実施しました。変換後の資産を用いてオンラインとバッチのパイロットテストを実施し、メインフレームとの動作差異となる『非互換項目』をチェックしました。『非互換項目』については対処方法の検討も合わせて実施し、この時点で移行対象機能の基本動作確認がとれたのでとても安心しました」

成果

取り組みの成果

高品質なツールでテスト工数を削減

マイグレーションの品質はいかがでしたか

「パイロットテスト後の新旧比較テストは、すべての処理でテストすれば安心ですが、大きなコストがかかります。これについて、キヤノン IT ソリューションズから、ツールによる資産変換方式の特性と過去実績から、全体の 25% をテスト対象としてはどうかと提案がありました。POC やパイロットテストの結果による品質を信頼し、その規模を採用したところ、NATURAL から COBOL への変換や ADABAS の変換も問題がなく、次工程のシステムテストでは品質面の問題は検出されませんでした。

また、Micro Focus Visual COBOL の優れた機能を活用したエミュレータの精度も非常に高く、操作画面も旧システムのものはかなり忠実に再現できましたので、システムユーザーはまったく違和感無く新システムを利用開始することができました。

本番移行後も安定稼働を続けています。メインフレームの廃止により運用コストは大きく下がりました。高精度なマイグレーションは、当初期待した QCD を全て満足し、当社内でも高く評価されました」

キヤノン IT ソリューションズの開発はいかがでしたか

「豊富な実績と経験を通じて培われたコンバージョンツールの品質が高い上、当社と同じ視線で課題検討し、積極的にプロジェクトを主導してくれたことは特筆に価します。全体の開発計画も、キヤノン IT ソリューションズが提案したシナリオを落とし込んだものです。

また今回のマイグレーションに合わせて、同社に現行オンライン処理への機能追加について相談しました。具体的には、CSV データのアップロード/ダウンロード機能をオンライン処理画面に GUI で追加して欲しいという要望でしたが、快く対応してくれたことで、単純なマイグレーションではなく、エンドユーザに付加価値も与えてくれました。このように、マイグレーションに関してだけでなく、プロジェクト遂行上の課題が発生した場合にも、手を挙げて対応してくれたのがキヤノン IT ソリューションズでした。高精度なマイグレーションを短期間で実現するという目標のために労を厭わないことが、信頼感を高めてくれました」

将来 将来の展望 信頼関係をさらに強いものに

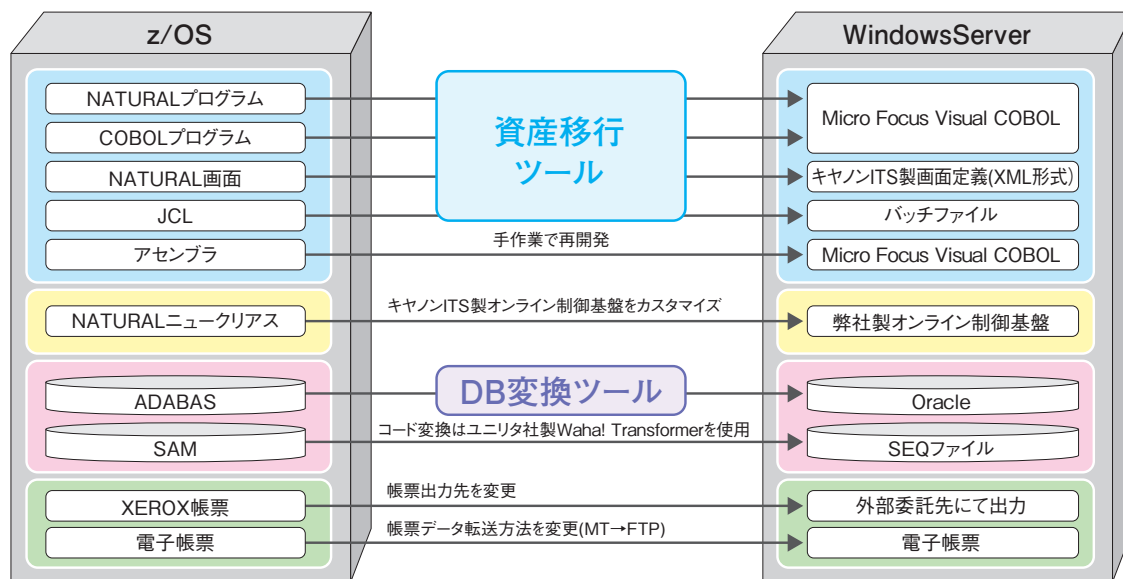
引き続きご協力いただいています。今回のマイグレーションで培った信頼関係をさらに深め、今後も技術力の高さを活かしたサポートをお願いしたいと思います」

今後の展望についてお聞かせください。

「メインフレームからマイグレーションしたシステムは、オープンシステム上で業務改善を目的としたシステム改修に取り込んでおり、キヤノンITソリューションズにも

オープン系システムへの移行イメージ

メインフレーム資産の移行方式



移行工程



マイグレーション

徹底したツール化と自動化により、手作業のリスクを可能な限り削減。新旧システム間のプログラム/データのコンバージョンを高品質かつ高効率に実現するソリューション。



キヤノン IT ソリューションズ マイグレーション ホームページ

www.canon-its.co.jp/solution/migration/

キヤノンITソリューションズ株式会社
 マイグレーション担当窓口 TEL (03) 5730-7178

●掲載された製品名および社名などは各社の商標または登録商標です。

Canon キヤノン IT ソリューションズ株式会社

〒108-0073 東京都港区三田3-11-28

※掲載内容は2018年取材当時のものです